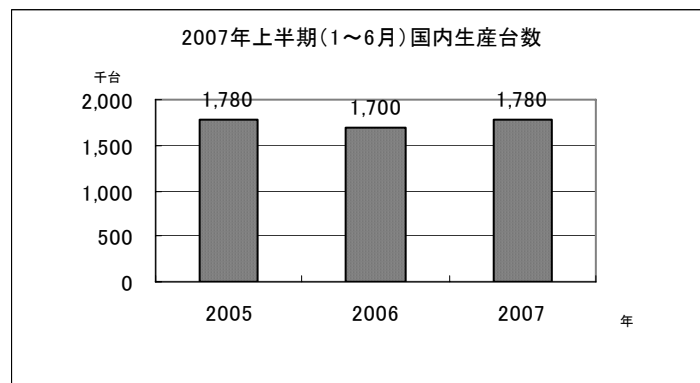


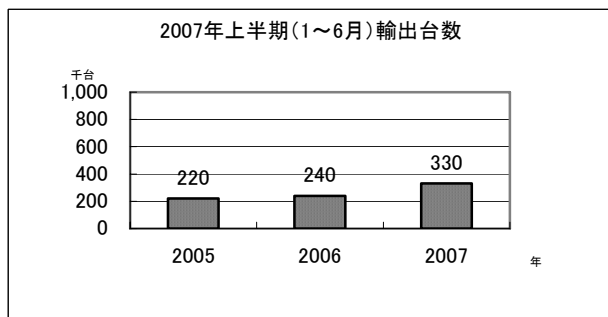
ドイツ自転車市況－2007 上半期

ドイツ二輪車工業会(ZIV)発表によると、2007年上半期(1～6月)の国内出荷台数は、前年同期より4万台増の309万台となった。当該期間の前半は、暖冬による好天が続いたため順調に販売を伸ばすことができた。特に自転車専門小売店は好調であり、冬季の在庫を順調に消化した結果であるとしている。国内生産台数も前年より8万台多い178万台となり2005年の水準まで戻った。輸出台数は、前年比約37%の33万台と大幅増となった。主な輸出先はオランダ8万台、スイス6.2万台及びオーストリア3万台など自転車専門小売店での販売シェアが高く、高付加価値商品の需要がある国々である。なお、輸入台数は同比約3%増の164万台と3年間増え続けている。

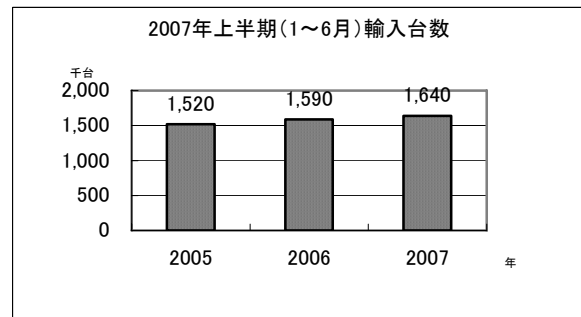
<国内生産>



<輸出>



<輸入>



国内出荷について生産国別に見てみると、ドイツ国内生産は47%を占め、輸入国別では最多の台湾は前年比17%減の25.4万台となり、昨年AD税賦課で順位を下げたベトナムはランク外へと消え去った。その代わりにタイが昨年の1.9万台から1100%激増の20.9万台と一気に台湾に次ぐ地位を占めた。同じくインドネシアも前年比20%増の12.3万台で上位にランクされている。v更に驚くべきことには、AD税賦課により年々減少していた中国からの輸入が10万台に達し前年より倍増以上の伸びを示している。

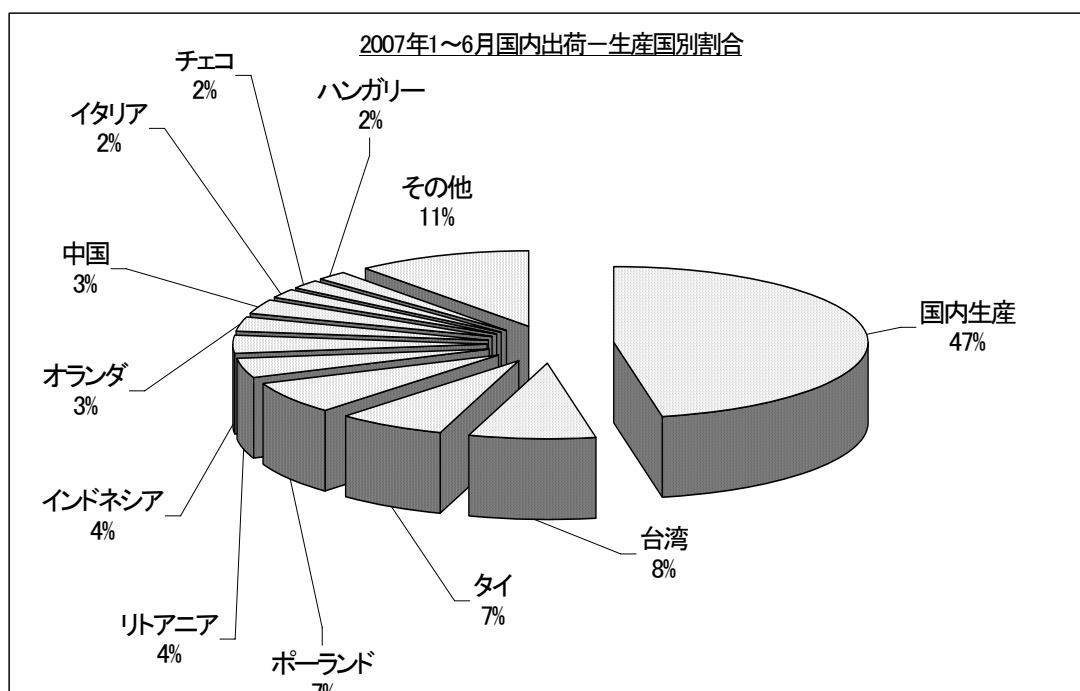
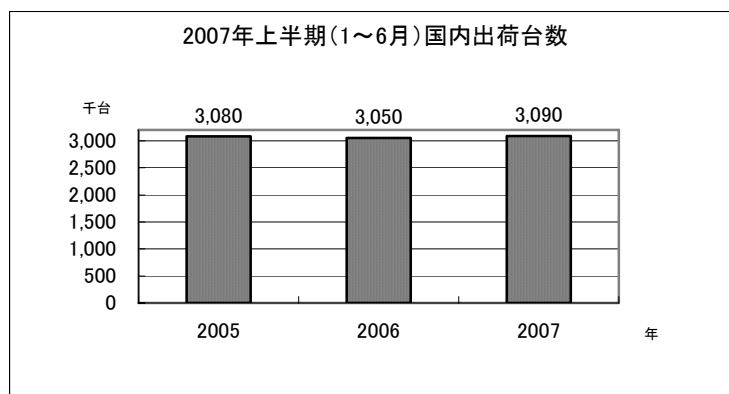
欧州地域を見ても、昨年EU加盟により増加が見込まれたブルガリアはランク外へと落ち、リトアニアやハンガリーも減少した。その一方で、昨年は3割以上落ち込んだポーランドが

前年比 24%増の 20.9 万台まで戻した。また、イタリア、フランスが台数を減らす中、オランダは前年 6.5 万台から 9.1 万台と 40%も増やしている。わずか 1 年間だけで見ても輸入先はめまぐるしく変化している。

なお ZIV では、2007 年下半期は前半の天候不順により、上半期のような成長は期待できないと見ている。また、昨今の自転車ツーリングの人気を受けて「トレッキング車」は「その他車種」から抜け出し、新たな車種としてこれからも人気を博していくとも述べている。

以上

<国内出荷>



統計出所： ドイツ二輪車工業会 (ZIV)

(デュッセルドルフ事務所)